

令和元年度森林環境譲与税の使途について

(石川県金沢市)

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果（総括）
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
① 意向調査の準備作業	森林経営管理現地調査事業	12,815	12,815	0	森林経営管理制度を進めるために、森林における筆界、所有界及び現況植生等を調査した。	実施町会数：5町会 実施面積：153 ha	
① 意向調査の準備作業	森林情報管理システム改修事業	4,708	4,708	0	既存の森林整備情報、法務局登記情報、農地台帳、課税台帳、および森林経営管理制度の進捗を地番単位で突合、工程管理を行うように金沢市が保有する森林GIS（金沢市森林情報管理システム）を改修した。	データ整備筆数：408,000筆	【ワンフレーズ】 税の活用により、金沢市の森林における土地の台帳を再整備し、様々な角度から森林を確認でき、かつ行政情報を統一できるようになった。
① 意向調査の準備作業	森林経営管理制度普及啓発事業	1,200	1,193	0	新たな制度である森林経営管理制度の普及、啓発に向け、市民や地元説明会用のチラシの作成、および地元説明会、職員の研修等を行った。	地元制度説明会実施回数：10回 地元制度説明会参加者：181人 チラシ配布枚数：15,000枚	【詳細】 本市は市内森林率が約60%であり、また人工林率は25%であるが、それらについては従来からの森林経営計画制度や分収林制度を活用してきたため、人工林の手入不足率については低位である（10%程度）。 しかしながら近年発生している新たな放置竹林、老齢広葉樹林、境界確認に関する問題については従来制度での対応が困難であった。 森林環境税の導入に伴い、森林経営管理制度に基づく人工林への更なる対策を実施するとともに、経済的な側面だけではなく、環境的、公益的な森林の有する機能を広く発揮するための制度作りを目指すことを方針として実施している。
② 意向調査	森林経営管理モデル地区事業	5,720	5,720	0	市全体での森林経営管理制度の導入に向け、市内2町会でモデル地区を設定した。モデル地区での実施を通して本制度の課題や業務フロー等を作成した。	意向調査実施面積：393.94ha 意向調査回収人数：156名/297名	
⑥ 林道・林専道の整備等	林道位置情報等調査事業	2,484	2,484	0	林業の経済性に大きく寄与するインフラである林道について、位置情報や破損状況、幅員など整備状況の現状確認を行った。	調査実施路線数：15路線 調査実施延長：80,813m	本年度では、森林所有者の関心が特に高く、問題視されている森林の土地の所有等台帳の再整備を行った。行政の有する情報を統一的に集約、管理を行うことで適切にかつ他の情報と差異なく所有者へ情報提供できるようにした。
⑯ 森林・林業・木材普及活動等	金沢産材利用促進事業	605	605	0	金沢市が認定する金沢産材の利用促進に向け、多様な業界から構成される金沢MORIJIN会議を設定し、課題や特徴の整理、今後のワーキングプランを作成した。	イベント参加者：206人	従来の森林簿を元にした土地台帳では約7万筆であるが、新たに整備した台帳では約11万筆となり、個別の森林に関する協定や契約情報を追加し、より広域かつ世代を超えて情報提供が可能となった。
⑯ 森林・林業・木材普及活動等	ふれあいの森整備事業	500	500	0	市民が森林の大切さに触れ、様々なレクリエーション活動が出来る森林環境教育の場所として、市民農園付近に林内散策路と森の広場を設置した。	金沢市三谷さとやま交流ひろば 整備面積：280m ²	